

2・23

34th

サタデープログラムニュース

第3部(14:00～15:30) 講座番号14番

ラノベ作家の進化と挑戦！

～経験の大切さ～

講師：蒼山サグさん（ライトノベル作家）



〈講師プロフィール〉

2009年、第15回電撃小説大賞にて「ロウきゅーぶ！」で《銀賞》を受賞。

著書には「ロウきゅーぶ!」「天使の3P!」「ゴスロリ卓球」(いずれも電撃文庫)などがあるほか、ゲームのシナリオなども手掛ける。「ロウきゅーぶ!」2011年、「天使の3P!」は2016年にそれぞれアニメ化された。

最新の著作は2018年12月電撃文庫刊行の「ゴスロリ卓球2」。

そもそもライトノベルとは？

皆さんは「ライトノベル」というジャンルについて説明を求められたら、どのようなイメージを思い浮かべますか？ 挿絵があるもの、一定のレーベルから刊行されているもの、会話が多用されているもの、文章が全体的に読みやすいもの、など人によってその答えは様々だと思います。既にご存知の方もいると思いますが、実はライトノベルというジャンルには、これと決まった明確な定義が存在しないのです。

蒼山先生はどんな人？

「ライトノベル」を出版しているレーベルの一つ、電撃文庫が開催している新人賞が電撃小説大賞です。蒼山先生は第15回電撃小説大賞で銀賞を受賞し、デビューされました。デビュー作となった「ロウきゅーぶ！」や、「天使の3P！」は、ヒロインたち、特に小学生の女の子をとっても可愛く魅力的に描写しているのが大きな特徴となっています。また、「ロウきゅーぶ！」ではバスケットボール、「天使の3P！」ではバンド活動、「ゴスロリ卓球」では卓球というように、特定のスポーツや趣味、活動にスポットライトを当てた作品を多く著しています。

進化と挑戦！

蒼山先生の著作は小学生のヒロインの描写が魅力的、と前述しましたが、蒼山先生の最新シリーズ「ゴスロリ卓球」には、第二巻現在まで小学生のヒロインが登場していません。蒼山先生に直接お話を伺ったところ、その理由は今までの自分の作品に対するイメージにとらわれずに新しい分野に挑戦し、今後も読者に楽しんでもらえる新しい作品を書き続けるためなのだとおっしゃっていました。

また、バスケットボールやバンド活動などの特定の分野に焦点を当てた作品は読者からの共感を得づらく、いわば「鬼門」とも言うべきものなのだそうです。その分野に詳しくない人でもわかりやすい作品になるように解説に力を入れたり、文体を少しずつ変化させ新しい試みを行ったりするなど、さらなる成長を目指して挑戦を続けているそうです。

蒼山先生は、ライトノベルというジャンルの最前線を歩み、新たな世界を開拓し続けるライトノベル作家のひとりなのです。

当日の講演では……

当日は蒼山先生の経験や著作活動に対する姿勢、お考えなどについて自由に講演を行って頂きます。ライトノベル作家の普段の生活のお話や、作品の貴重な制作秘話なども伺うことができるかもしれませんよ！

皆さんの聴講をお待ちしています。是非お越しください。

担当 H1E 名倉健太（文責） H1C 熊谷堯敏 H1K 荒川勝光